

2022年度 事業報告

2022年度を振り返って

昨年度も、2020年度、21年度と同様にコロナ禍から免れない年でした。そんな中で社会もできるだけ元の状態に近づけようとする機運が出てきて、いのちの電話の活動も、感染予防対策をしながら、相談員募集を再開し養成講座も実施、相談員研修も毎月1回実施するなど、かつての状態に戻してきました。残念ながら20年度の募集停止により新しい相談員の誕生はありませんでしたが、今年度には20名以上の新しい相談員が誕生します。全体の相談員数の減少に見舞われましたが、相談数は徐々に増えています。これはひとえに社会の悲鳴に応えようと現在活動している相談員の奮闘によるものです。

相談内容は、自殺傾向のある方からの電話は増加傾向にあり、2,700件弱になります。昨年の道内の自殺者も増加傾向にあるとの報道と一致しています。

寄付状況は、国からのコロナ対策など特別補助金などもあり、また寄付金の増加、特に新たに始めた青少年のための自殺予防を目的とした「こころのライブ授業」への寄付金が多くあり、21年度を上回る収入となり、収支決算を黒字にすることができました。

近年の青少年の自殺者の増加、青少年の電話離れが進行し、身近なSNSの世界での自殺願望の書き込みなどに触れる危険性について、いのちの電話としても何かできないかという思いから昨年度から始めた「こころのライブ授業」は好評で18校で実施しました。今年度もより多くの学校、さらに市民に向けても実施しようと考えております。このことを通じて、悩みがある時は信頼する人に話すこと、悩む人に耳を傾け聴くことの大切さ、いのちの大切さを、ナイト de ライトの力を借り、音楽を通じても訴えていきたいと願っています。

今後とも、電話を通しての悩みに寄り添う活動という基本を守り、一方で電話離れする方たちに、悩みを語り合う大切さを訴える活動もできる範囲で行っていこうと思っているところです。

皆様の温かいご支援により北海道いのちの電話が開局して44年になります。この活動が続けて来られていることに深く感謝するとともに、これからも変わらぬご支援をお願いする次第です。

2023年6月

社会福祉法人 北海道いのちの電話 理事長 南 槇子

◆相談電話統計概略

2022年(1～12月)の相談電話件数は、新型コロナウイルスの感染数が減少傾向であったが、相談員の実働数はコロナ前の状況に届かなかったものの、努力あって前年より約750件多い14,748件受信することができた。1日当たり40件、自殺傾向の割合は18.1%(前年16.1%)であった。内容別では人生が25%、次に精神が24%。年代別では50代が29%、40代が24%であった。(詳細2・3ページに掲載)

◆委員会報告

1. 研修委員会

委員長 佐々木 敏明

2022年度は、コロナのため2020年度の募集を中止したことで、新規の認定相談員はなかったが、前年度とほぼ同数173人の登録相談員によってスタートした。

相談員実稼働数は前年より僅かながら増加し、1本でも多くの電話を受けようという相談員の努力の甲斐あって、前年よりも約750件多く電話を受けることができた。

相談員数は昨年と同様に年度中に休務・辞退を申し出る相談員が20人に近くあったが、44期生24人が認定され、2023年度のスタート時は180人の登録相談員となる見込みである。

各部の活動状況を以下のように報告する。

(1) 養成研修

第44期生は33人で研修を開始したが、個々人の様々な事情により辞退・延期者があり、最終的に24人が新相談員として認定された。

第45期生は16人で研修を開始し、予定通りに研修が進められた。

第46期生は本原稿作成時において、24人の応募状況となっている。

(2) 継続研修

グループ研修は、コロナの変化に備えて2年間同じ編成とし、司会進行役を置き毎月開催することができた。また、スーパービジョンの実施と全体研修も2回開催することができた。

(3) 研修担当者研修

研修担当者研修は、グループ研修の進め方の変更があり、リーダー研修の開催はなかったが、スーパービジョンが再開することに伴い、スーパーバイザー研修を開催した。

(4) 外部研修への派遣及び周知

外部研修への派遣は全て中止し、リモートによる研修開催の案内を行った。

(5) 調査研究活動

相談電話統計及び分析をし（詳細別掲）、社会資源台帳を精査し更新した。
また、コロナに関する情報整備を随時行った。

2. 支援企画委員会

委員長 坪田 伸一

園城三花氏（フルート）主宰「京都カルテット」釋伸司氏（ヴァイオリン）、松田美奈子氏（ヴィオラ）、山岸孝教氏（チェロ）の編成で、「花と名曲いのち奏でるコンサート札幌」を6月11日に開催し、“演奏”と“生け花”（池坊札幌支部）による公演で、来場者に素敵なひと時を届けることができた。

また、市民公開講座では、「花と名曲いのち奏でるコンサート」主宰の園城三花氏に登壇いただき、「いのちと音楽～そして届けるフルート奏」と題し、“いのちの電話を支援する思い”“10代・若い世代へのメッセージ”をお話いただいた後には、地元札幌交響楽団の物部憲一氏（ヴィオラ）、猿渡輔氏（チェロ）との“トリオ*サッポロ”の演奏を市民に届けることができた。

3. 事業推進委員会

委員長 牧 泰昌

今年度も世界自殺予防デーに開催していた「いのちミュージックデー（IMD）」と、自殺予防啓発ティッシュの配布はコロナのため中止した。

昨年度、10代・若い世代の自殺対策として“生きててくれてありがとう”の動画・DVDを全道の中学・高校約1,000校に配布した活動を継承する形で、今年度は、いのちの大切さを伝える“いのちの電話”の講話と、希望を歌うロックバンド“ナイト de ライト”のライブを、「こころのライブ授業」（出前授業）として、チームで届ける活動を実施し、小・中・高校合わせて18校、約5,000人に届けることができた。

4. 広報委員会

委員長 吉田 陸雄

法人活動をより多くの市民・道民に知らせるため広報誌を3回発行した。

〈各号のテーマ〉

145号（7月）「みんなでつなごう傾聴のバトン 引退、新人。二人の相談員の想いを聴く」

146号（11月）「市民公開講座3年ぶり開催 園城三花さんとトリオ*サッポロを講師に」

147号（3月）「心配なのはコロナ後 相談体制の立て直し、強化が急務 社会、経済の環境悪化」

5. 相談員会

コロナの影響で活動中止とした。なお、次年度は再開する予定である。

◆相談電話統計詳細

2022年（1～12月）の相談電話件数は14,748件で、前年より731件多く受けることができた。内訳は男性6,159件、女性8,589件であった。1日当たり40件、自殺傾向の割合は18.1%（前年16.1%）。自殺傾向の男女別では、男性1,148件、女性1,520件で、男性の自殺傾向が前年比で30%増加しており、コロナの影響によるものと考えられ、深刻な状況であると捉えている。

内容別では「人生」3,740件（25%）で最も多く、「精神」3,551件（24.2%）、「家族」1,731件（12%）であり、「人生」では孤立・孤独の方が増加傾向にある。

年代別では50代が28.5%、40代が24.2%となっており、この二つの年代で半数以上を占めている。また、20代6.6%（昨年8%）、10代1.9%（昨年同率）で、それぞれ自殺率が高い割合である若年層の受信件数が少なく、より電話離れの傾向にあるものと思われ、20代は昨年より160件減少している。

「フリーダイヤル（以降FD）自殺予防いのちの電話」は、毎月10日の受信及び10日以外の毎日16時～21時の時間で実施した。

10日FDの受信件数は313件でその内の自殺傾向率は18.8%。毎日FDの受信件数は2,971件でその内の自殺傾向率は27%（昨年同率）で、通常電話と比較し自殺傾向率が高い割合となっている。

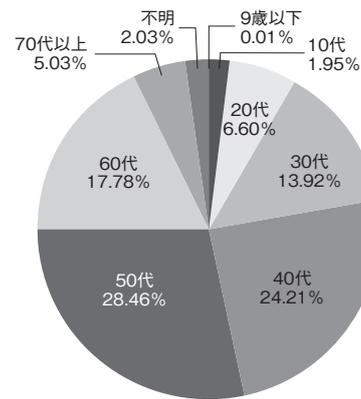
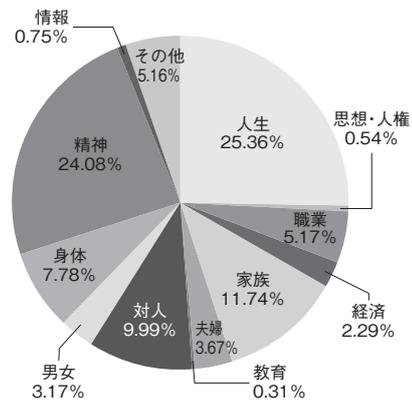
コロナに関連する相談電話は1,615件（昨年2,462件）。総受信件数の11%で、昨年より847件減少したが、不安を訴える内容が30%あり、今後もこの傾向が続くことが考えられる。

◆相談電話統計・比較表とグラフ

相談を内容別、年代別、自殺傾向別に前年比較表とグラフ表記の他、コロナに関連する統計データを示した。

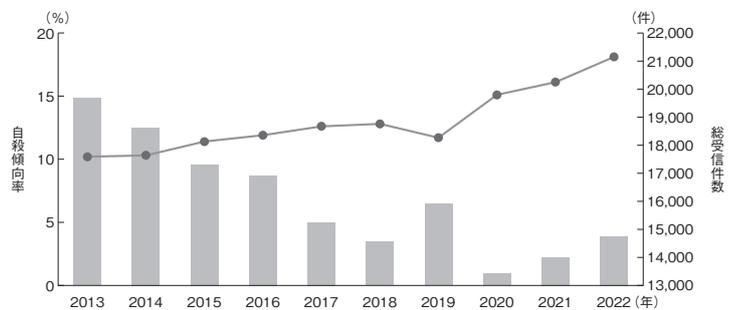
①内容別件数

	男	女	2022年 合計	2021年 合計
人 生	1,669	2,071	3,740	3,958
思 想・人 権	25	55	80	97
職 業	436	326	762	682
経 済	158	180	338	276
家 族	490	1,241	1,731	1,529
夫 婦	163	378	541	557
教 育	21	24	45	34
対 人	503	970	1,473	1,395
男 女	197	271	468	489
身 体	423	725	1,148	907
精 神	1,436	2,115	3,551	3,142
情 報	49	61	110	101
そ の 他	589	172	761	850
合 計	6,159	8,589	14,748	14,017



②年代別件数

	男	女	2022年 合計	2021年 合計
9歳以下	1	0	1	0
10代	198	90	288	268
20代	546	428	974	1,134
30代	950	1,103	2,053	2,083
40代	1,624	1,947	3,571	3,459
50代	1,643	2,555	4,198	3,932
60代	882	1,740	2,622	2,246
70代以上	182	560	742	619
不 明	133	166	299	276
合 計	6,159	8,589	14,748	14,017



③自殺傾向件数

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
自殺傾向件数	2,002	1,914	1,967	2,021	1,918	1,861	1,856	2,023	2,251	2,668
総受信件数	19,679	18,625	17,319	16,916	15,248	14,556	15,906	13,424	14,017	14,748
自殺傾向率	10.2%	10.3%	11.4%	11.9%	12.6%	12.8%	11.7%	15.1%	16.1%	18.1%

④コロナ関連件数

	2022年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
コロナ件数	187	168	166	140	135	109	105	145	110	79	145	126	1,615
総受信件数	1,210	1,120	1,238	1,291	1,333	1,166	1,244	1,170	1,241	1,197	1,287	1,251	14,748
コロナの割合	15.5%	15.0%	13.4%	10.8%	10.1%	9.3%	8.4%	12.4%	8.9%	6.6%	11.3%	10.1%	11.0%

2022年度 決算

貸借対照表

社会福祉法人北海道いのちの電話

(単位：円)
2023年3月31日現在

借方		貸方	
科目	当年度末	科目	当年度末
1. 流動資産	10,972,306	流動負債	294,327
現金預金	10,037,428	預り金	8,184
現金	42,823	職員預り金	89,143
普通預金	9,994,605	期末手当引当金	197,000
口座振替	740,778		
前払費用	194,100		
		固定負債	847,100
		退職給与引当金	847,100
		負債合計	1,141,427
2. 固定資産	23,643,551	基本金	16,220,800
(1) 基本財産	16,220,800	基本金	16,220,800
電話加入権	220,800	積立金	17,253,630
定期預金	16,000,000	基本財産積立金	3,000,000
(2) その他の固定資産	7,422,751	事業運営積立金	14,253,630
什器備品	2,348,486		
建物付属設備	240,598		
定期預金	4,500,000		
ソフトウェア	333,667		
		純財産合計	33,474,430
資産合計	34,615,857	負債・純財産合計	34,615,857

収支計算書

社会福祉法人北海道いのちの電話

(単位：円)
自2022年4月1日 至2023年3月31日

項目	当年度決算(A)
相談事業収益	19,515,143
会費・寄付金収益	14,066,643
その他の事業収益	5,448,500
その他の収益	777,036
受取利息収益	665
収益計	20,292,844
人件費	6,369,885
相談事業拠点区分費用	
事業管理費	838,147
養成研修費	1,755,405
継続研修費	879,719
研究調査費	8,200
広報費	885,692
支援企画費	84,750
事業推進費	2,967,120
事務費	1,209,498
センター管理費	3,717,130
減価償却費	1,183,247
連盟負担金支出費	386,000
費用計	20,284,793
その他活動外費用	
積立金支出費	8,051
合計	20,292,844

財産目録

社会福祉法人北海道いのちの電話

(単位：円)
2023年3月31日現在

資産・負債の内訳	金額
I 資産の部	
1 流動資産	
(現金・預金)	
現金 現金手許有高	42,823
普通預金 北海道信用金庫	356,913
北洋銀行本店 (023-8134)	5,981,248
北洋銀行本店 (171-7526)	150,001
北海道銀行	740,633
ゆうちょ銀行	2,143,770
北海道労働金庫	622,040
振替口座 ゆうちょ銀行	740,778
現金・預金計	10,778,206
(その他流動資産)	
前払費用 ボランティア保険料、講師謝金	194,100
その他流動資産	194,100
流動資産合計	10,972,306
2 固定資産	
(1) 基本財産	
電話加入権 231-4343、251-6464、219-3144、221-9095、231-0509、231-4344	220,800
定期預金 北海道信用金庫	10,000,000
ゆうちょ銀行	5,000,000
北洋銀行	1,000,000
基本財産合計	16,220,800
(2) その他の固定資産	
什器備品 電話モニター機器他	2,348,486
建物付属設備 電話室防音設備工事、電話室床工事	240,598
定期預金 北洋銀行	2,000,000
北海道労働金庫	2,500,000
その他の固定資産合計	7,089,084
3 無形固定資産	
ソフトウェア	333,667
固定資産合計	23,643,551
資産合計	34,615,857
II 負債の部	
1 流動負債	
預り金 講師源泉所得他	8,184
職員預り金	89,143
期末手当引当金	197,000
流動負債合計	294,327
2 固定負債	
退職給与引当金	847,100
負債の部合計	1,141,427
差引純財産	33,474,430

2023年度 予算

(単位：円)

項目		金額
収益	会費・寄付金収益	11,488,000
	その他収益	4,734,000
	相談事業収益	715,000
	収益事業繰入収益	0
	収益計	16,937,000
費用	人件費	6,656,000
	相談事業費	5,332,000
	事業管理費	901,000
	養成研修費	1,712,000
	継続研修費	1,180,000
	研究調査費	8,000
	広報費	801,000
	支援企画費	40,000
	事業推進費	0
	事務費	690,000
	センター管理費	3,368,000
	減価償却費	1,200,000
	連盟負担金	381,000
	費用合計	16,937,000
収支差額	0	

2023年度 事業計画

基本方針

自殺防止を目的としたいのちの電話の基本理念を基盤とする。コロナの影響は今後も続くことが予想され、こころや生活不安により自殺に傾く人の増加が危惧される。加えて昨年増加した10代・児童生徒の自殺防ぐため、いのちの電話の周知に取り組む。

研修委員会

相談員募集に関し“養成研修”“実務研修(インターンシップ)”に変えて実施する。また、相談員の増加と参加し易さに繋がるよう、研修期間の短縮と研修内容を電話実習に重きを置く方向で検討する。一方相談員の継続研修においては、より聴けることに繋がる研修内容を研修の在り方と共に検討する。

事業推進委員会

2022年の児童生徒の自殺者数は、これ迄で最も多い数が報告された。私共はこのことを重く受け止め、昨年度トライアル実施した“こころのライブ授業”を、「いのちの電話を知らせる活動」「いのちの大切さを知らせる活動」を目指し“若い世代の自殺対策事業”として実施する。

広報委員会

法人活動をより多くの市民・道民に知らせるため、年3回発行する。また、若い世代にいのちの電話活動を知らせることを目標に、SNSによる周知に取り組む。

支援企画委員会

今年度も「花と名曲“いのち奏でるコンサート”」を実施する。また、市民公開講座は、事業推進委員会と連携し、“こころのライブ授業”に全面支援している希望を歌うロックバンド“ナイト de ライト”の対談にライブを交えて実施する。

《役員等名簿》

理事長	南 禎子							
常務理事	小林 克哉							
理事	池田 輝明	板垣 昭彦	佐々木 敏明	榊原 綾子	島津 宏興	嶋津 博	坪田 伸一	牧 泰昌
	宮崎 善昭	吉田 陸雄						
監事	小野寺 満	中山 明						
評議員	荒木 敏安	池田 真喜子	池田 光幸	伊藤 雅彦	大町 信也	岡崎 大介	川畑 恵	小谷 和雄
	加藤 雄大	今野 涉	佐藤 志津	返町 賢治	高橋 義人	田中 勇	中原 准一	水野 匡勝
	峯後 重子	森田 健児						

寄付をお寄せくださった方々 (2022年4月～2023年3月)

《団体》MDRT ソニー会/いのち奏でるコンサート/いのちの電話 ドリーム/桂信雄元札幌市長追悼コンサート実行委員会/㈱エス・トラスト/旧北海道いのちの電話後援会/光星経済人会/国連合北海道/札幌市清田保健センター/札幌市保健福祉局高齢保健福祉部/札幌市手稲区役所 役職者会/札幌市北区役所市民部総務企画課庶務係/札幌市財政局財政部財政課・企画調査課/札幌市市民文化局地域振興部 区政課/札幌市職員共済組合/札幌施設管理㈱/札幌市総務局秘書部秘書課/札幌市都市局 役職者会/札幌市西区役所 総務企画課 有志一同/札幌市東区役所 役職者会/札幌市保健福祉局保険医療部保険企画課/札幌市まちづくり政策局政策企画部/札幌市立高等学校 教職員組合/札幌電気工業協同組合 理事長 小野寺 涼一/札幌西ライオンズクラブ/札幌南ロータリークラブ/札幌ライラックライオンズクラブ/司法書士ほしおさ駅前通事務所/すすきの十字街ビル㈱/全日本建設交運一般労働組合札幌学童保育支部/ TMES ㈱ 札幌支店/とかち宿 田園 山下 一也/学法)酪農学園 とわの森三愛高等学校/税理士法人 日本アシスト会計/日本郵政グループ労働組合北海道地方本部/日本労働組合総連合会 北海道連合会/ PMF ボランティア「ハーモニー」/ Fellowship River /北央信用組合/北星学園女子中学・高等学校 同窓会/北海道神社庁/北海道精神科病院協会/北海道電気工業工業組合 理事長 小野寺 涼一/北海道大学落語研究会 OB・OG会/南円山地区区民協議会/連合北海道宗谷地域協議会/連合北海道日高地域協議会/連合北海道留萌地域協議会/平林メンタルクリニック/北海道精神神経科診療所協会/医法)荒木病院/医法)小野眼科医院/医法)こぶし 植苗病院/医法)札幌西の峰病院/医法)五風会 さっぽろ香雪病院/医法)正心会 岡本病院/医法)花岡神経クリニック/医法)ふるや内科/一財)札幌市スポーツ協会/一社)札幌市医師会/一社)北海道医師会/一社)北海道開発技術センター/学法)北海道キリスト教学園 麻生明星幼稚園/学法)藤学園 藤幼稚園/学法)北星学園 法人課/北光幼稚園/室蘭めばえ幼稚園/学法)札幌ルター学園 めばえ幼稚園/認定こども園 元江別わかば幼稚園/旭イノベックス㈱/伊藤製缶工業㈱/交洋不動産㈱/セントラルリーシングシステム㈱/札幌第一興産㈱/札幌賃貸開発㈱/佐藤水産㈱/三機工業㈱北海道支店/第一ペット商事㈱/ダイニチキャピタル&ホープ㈱/東テック北海道㈱/苫小牧熱供給㈱/北土建設㈱/ほくよう保険サービス㈱/北海道エネルギーホールディングス㈱/北興化工機㈱/幌村建設㈱/ムトウ建設工業㈱ 代表取締役 武藤 征一/ワコオ工業㈱/㈱石山組/㈱伊藤塗工部/㈱エスターテ/㈱きんでん 北海道支社/㈱グリーンコーポレーション/㈱興陽技建/㈱さっぽろテレビ塔/㈱札幌振興公社/㈱敷島屋/㈱シモクニ

こころより感謝申し上げます

(株)昭和総業/株セコマ/株第一エンヂニアリング/株ドウデン/株常盤常盤興産/株藤井工務店/株ほくていホールディングス/株北洋銀行 経営企画部/株まるいち/札幌独立キリスト教会/殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ修道会/聖ベネディクト女子修道院/天使の聖母 トラピスチヌ修道院/日本聖公会 札幌キリスト教会婦人会/日本聖公会 札幌キリスト教会/立正佼成会 札幌教会/カトリック 北11条教会/カトリック 北広島教会/日本福音ルーテル函館教会 野の花の会/日本キリスト教会 小樽シオン教会/日本キリスト教会 北広島山手教会/日本キリスト教会 北見教会/日本キリスト教会 札幌琴似教会/日本キリスト教会 札幌豊平教会 女性会/日本キリスト教会 札幌発寒教会/日本キリスト教会 札幌白石教会/日本キリスト教会 森林公園教会/日本聖公会 札幌聖ミカエル教会/(宗)日本キリスト教会 札幌北一条教会/日本キリスト教団 江別教会 野ゆり会/日本基督教団 北広島教会/日本キリスト教団 琴似中央通教会 婦人会/日本キリスト教団 札幌教会/日本キリスト教団 月寒教会/日本キリスト教団 手宮教会/日本キリスト教団 野幌教会/日本キリスト教団 函館教会/公財)札幌市中小企業共済センター/公社)札幌中法人会/合同会社 小林英一ホールディングス/札幌白石ライオンズクラブ/円照寺/観音寺/高野山真言宗 広照院/真宗興正派 昭念寺/真宗大谷派札幌別院/本願寺 札幌別院/(宗)真宗大谷派 大願寺/社会福祉法人 札幌三和福祉会/社会福祉法人 札幌慈啓会/匿名:25

《個人》相場幸子/あおぬまたかこ/青柳雅子/浅田英祺/東博行/東ミツエ/姉崎雅子/阿部直志/雨宮寿子/荒木千恵子/荒木哲彦/新谷由紀子/在田則子/生島典明/池田明穂/池田達子/池田輝明/石井紀恵子/石井美雪/石井美雪/石井由紀/石川律子/石田明義/石橋千里/和泉睦子/磯野岳臣/井田明美/井手悟/伊藤榮子/伊東仁/稲垣豊穂/稲志真/井上敬一/井原貴男/上田邦子/上田敏彦/上田正勝/上野輝佳/魚住昌也/内海洋子/梅津典子/遠藤慧介/遠藤知恵子/尾池一仁/大泉三千代/大久保恵子/大蔵精蔵/オオサキマサヒロ/大須賀夏/大西一枝/大濱良代/近江勝彦/大山修司/岡崎大介/岡貞夫/尾形照夫/岡林律子/岡本かおり/奥村真佑/小倉佳南子/尾崎弘子/小谷和雄/越智哲子/小野寺満/小野寺裕子/小野肇/小野道弘/角尾大和/角田今日子/寛石雄/笠井典明/葛西美保子/桂絢子/加藤秋男/加藤洋子/上遠野克/金子千恵/金子禎子/狩野廣/上河潤子/上島真衣子/川上貞子/川嶋しのぶ/川尻榮子/川瀬良伸/川原昌志/川原康子/河村壽子/川守田京子/菊地孝子/北川眞理子/北川誠一/北嶋愛/北村ミツ子/国島やよい/熊敏彦/熊谷トキ/黒川輝世/黒島芳江/コイズミチユキ/合田功/鴻池佳秀/古賀清敏/小坂正幸/後藤美子/古野間計久/小林茂/小林敏美/駒野ひかり/小山司/西城民治/斎藤美恵子/斎藤泰史/斎藤雪子/酒井玲子/榎原綾子/阪口晶美/阪口彰男/坂田和則/坂本勝彦/坂元由美/佐川節子/佐々木教子/佐々木春代/佐藤昭彦/佐藤瑛子/佐藤慎一郎/佐藤泰光/寒川ナミエ/澤口勉/澤田道子/澤田好子/澤田隆一/塩田越波/志田祐一郎/品川久美子/篠本あき/島田宏子/下平尾文子/下村笑子/進藤芳彦/末次邦雄/菅原祐雄/杉本明/杉本拓/鈴木新一/鈴木眞一/鈴木泰子/鈴木直子/鈴木吉嗣/須田健/須藤利昭/桃代/角喜久恵/関寛/関堂勝幸/返町賢治/恵美子/大淳子/高橋賢治/高谷昌子/瀧山紀子/武田征勝/竹田由美子/竹谷宏一/竹山和恵/田坂伸子/田島安都子/多田英子/館美武弘/田中勇/田辺・出口・坂田・岩本・剣崎/田辺等/谷暎子/谷口満江/田原尚子/田村由道/千葉勇/千葉正昭/塚崎和義/築山剛/佃悦子/辻田恭子/土田妙子/恒川昌美/角掛紀子/坪田伸一/出口寿美枝/出村政治/遠山貞子/富村愛子/戸谷洋子/永井和夫/長井茂子/中井昭一/長尾新/中垣内隆久/中川久美子/中川洋子/長島節子/永田京子/中田茂子/中西章子/中西憲二/中平桂子/中村健司/那須政子/浪田美智枝/成田憲之/成田教子/南條道子/西素子/布村まり子/橋本武/橋本敏明/服部貞義/浜田毅/林信子/林多美子/早瀬龍宏/日高敬子/常陸禮子/平泉美智子/平野博昭/平林規好/平原邦幸/平原紀子/平山紘一/廣瀬敏一/福浦忠雄/福田三行/藤孔仁子/藤嶋正/藤田慶一/藤原頼亨/星昇/星野恭亮/細川亜希子/保原めぐみ/堀雄一/梶村司/本間伸子/本間雅彦/前田輝夫/前田典子/前田芳秀/増井啓子/町村淳子/松尾みつ子/松平英明/松本妙子/丸山年代/三浦禎子/三浦敬一郎/三浦俊祐/三浦直也/三浦光孝/三上幸子/水城義幸/水野さつき/三井尚/南嘉與子/南千晶/南榎子/南善巳/藪島礼子/宮崎京子/宮本吉連/向井隆/武藤美千代/村井俊朗/村上美英子/村部修/毛利剛/森淳一/森井徹/森下高志/森林耕二/森林美恵子/森谷繁/八島明子/八幡敬一/山加好和/山岸みどり/山口久美子/山口双葉/山崎恭弘/山下欣哉/山下路子/山中貴義/山本隆巳/山本房子/山本二枝/吉江昌彦/芳川さと子/吉田和俊/吉田孝男/吉田宏/吉田桃代/吉田洋子/吉中朋子/吉野えみ/吉見紫乃/吉見溶子/義村小夜子/吉山八郎/吉山みさ子/鷲頭恭子/渡辺信英/医法社) 古山小児科・内科医院/匿名:84

《募金箱》 小林内科・小児科医院/札幌サンプラザ/スーパーヘアー jet 本店/大和リゾート(株) ロイトン札幌/浜田歯科医院/ホテルやまち レストラン エル/ホテルやまち レストラン 青山/㈱フリニカル北28条調剤薬局

《助成金》 (公財)北海道新聞社会福祉振興基金/(一財)北海道信金ひまわり財団/(社福)北海道共同募金会

こころのライブ授業協賛に関するご報告

2022年度の実施となる事業に多くの個人・企業・団体から協賛をいただきました。

《こころのライブ授業協賛》 阪口彰男/Fellowship River/学法)北星学園 法人課/札幌南ロータリークラブ/真宗興正派 昭念寺/加藤龍子/大山修司/島津電設(株)/札幌市市民文化局地域振興部 区政課/菅原祐雄/第一ペット商事(株)/川嶋しのぶ/札幌市まちづくり政策局政策企画部/真宗大谷派札幌別院/佐々木春代/寒川ナミエ/日本郵政グループ労働組合北海道地方本部/宮崎京子/増井啓子/本間雅彦/平原紀子/平原邦幸/斎藤美恵子/菊地孝子/金子千恵/金子禎子/狩野廣/岡林律子/三浦禎子/連合北海道日高地域協議会/芳川さと子/藤田希雄/佐藤瑛子/国公連合北海道/連合北海道留明地域協議会/連合北海道宗谷地域協議会/長井茂子/株シモクニ/塩田越波/前田輝夫/常陸禮子/日本労働組合総連合会 北海道連合会/稲垣豊穂/札幌市清田保健センター/寺林恵/小野寺満/小林茂/上田敏彦/吹矢千代子/瀧山紀子/札幌市職員共済組合/榎原綾子/聖ベネディクト女子修道院/義村小夜子/株昭和総業/尾形照夫/株伊藤塗工部/成田教子/熊谷トキ/(宗)顕本寺/森林耕二/岡本食品(株)/小坂正幸/中井昭一/尾池一仁/鬼丸美保子/小屋たよ子/南嘉與子/駒野ひかり/河井博/土田妙子/小野道弘/株札幌振興公社(順序不同、敬称略ご容赦ください)



社会福祉法人 北海道いのちの電話

<https://www.inochi-tel.com/>

発行日 2023年7月

発行所 社会福祉法人 北海道いのちの電話

〒060-8693 札幌市中央郵便局私書箱107

事務局 TEL.011-251-6464 FAX.011-221-9095

印刷 株式会社アイワード

2023.7.2.600

この報告書は赤い羽根共同募金の助成金を受けて作成しています